



福岡県 福岡市

福岡市中央区天神1-8-1
 担当：保健予防課、精神保健福祉センター
 〒810-8620
 ☎092-711-4377 FAX092-733-5535
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/>
 Eメール：

本市のデータ

(1)面積 341.70km² (平23.10.1)

(2)世帯数・人口

推計人口(平成24年3月1日現在)

世帯数	722,687世帯	
人口	1,483,322人	東区 296,576人
		博多区 216,728人
		中央区 182,482人
		南区 248,843人
		城南区 129,349人
		早良区 213,277人
		西区 196,067人

(2)産業・経済

平成21年経済センサス 基礎調査結果

	事業所数		従業者数	
全産業	73,601	100.0%	871,197	100.0%
第1次	64	0.1%	578	0.1%
第2次	7,719	10.5%	114,812	13.2%
第3次	65,818	89.4%	755,807	86.8%

民間事業所のみ

本市の概要

福岡市は、都市としての魅力と博多湾に代表される美しい自然とを併せ持ち、長い歴史の中で培われた伝統・文化に恵まれた、独自の個性と魅力を持つ都市です。

伝統的技法を受け継いだ産業として、国指定の伝統的工芸品である博多織・博多人形や県指定の特産工芸品である博多曲物(まげもの)などがあり、水産業では、博多湾や玄界灘で多種多様な魚介類を水揚げし水産加工業も盛んに行われています。

博多どんたくや博多祇園山笠などの「祭り」も盛んであり、学術・文化の振興につながる大規模な国際大会や学会など国際コンベンションの振興にも力を注いでいます。



第55回 新作博多織展
内閣総理大臣賞受賞作品

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

自殺者数は、平成10年以降、全国で30,000人、福岡市では、毎年300人を超える方が自殺されております。

このような憂慮すべき事態を受け、平成18年に「自殺対策基本法」、平成19年に「自殺総合対策大綱」が制定され、国を挙げての取組が始まりました。

本市でも、平成21年3月、本市の自殺対策の基本的な方針をまとめた「福岡市自殺対策総合計画」を策定し、関係機関と連携しながら自殺対策に取り組んでおります。

<具体的な取組み>

(1) 一般対策事業

うつ病対策や市民啓発など従来からの取組み

①うつ病予防教室等

- 各区及び各校区でのうつ病予防教室の開催
- うつ病家族教室の開催(精神保健福祉センター)
- うつ病市民講座の開催(精神保健福祉センター)
- うつ病自己チェック票による普及啓発
- 産後うつ病早期スクリーニング

②かかりつけ医うつ病対応力向上研修(福岡市医師会委託)

③自殺予防キャンペーン

講演会、ゲートキーパー養成研修、自殺予防相談窓口開設の実施

④その他

- 福岡市自殺対策協議会(H18年11月設置)
- 自殺予防リーフレット等の作成・配布

(2) 地域自殺対策緊急強化基金事業

①相談チーム派遣、自殺ハイリスク者支援

司法書士、精神保健福祉士等による相談チームを結成し、病院などからあがってきた相談事例に対応するとともに、相談会の開催等を実施。併せて、自殺未遂者などハイリスク者支援の方策を検討。

- 多重債務者生活再建相談へ相談員派遣
- こころと法律の相談会
- 事例検討会
- 司法書士による「ベッドサイド法律相談」の検討

②夜間電話相談

精神障がい者の夜間の不安解消を図るため、地域活動支援センター I 型で「こころの電話相談」を試行。

③相談支援機関研修

自殺対策に関わる機関の職員等への研修。

- 夜間電話相談員研修
- 保健師向け研修(基礎編、応用編)
- 自死遺族支援者研修(日本ホスピス・在宅ケア研究会への派遣)
- こころのケアと法律知識連続研修(弁護士会と共催)
- 救急隊員向け研修
- 救急病院職員等自殺予防研修

④福岡いのちの電話インターネット相談助成

福岡いのちの電話が開始するインターネット相談事業立ち上げに要する費用を助成。

⑤自殺予防支援モデル構築に向けた調査研究

福岡市の自殺の実態解明と地域での自殺予防推進のための方策の研究を福岡県立大学へ委託。